





会 長	支部長	幹事長	役 員	会 計
3				

令和3年2月2日

支部連合会会長・幹事支部支部長会議  
オンラインご出席者 各位

公益社団法人 日本将棋連盟  
普及部  
TEL03-3408-6165

日本将棋連盟「令和2年度支部連合会会長・幹事支部支部長会議」オンライン開催  
当日配布資料と参加者用マニュアル送付のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は将棋の普及活動にご尽力を賜りまして心より感謝申し上げます。

2月7日(日)に行われます「支部連合会会長・幹事支部支部長会議」へ、オンラインにてご出席頂く皆様方へご連絡申し上げます。

会議に際し、当日配布される資料及びオンライン参加者用マニュアルをお送り申し上げます。

当日はこの資料をもとに進行させていただきますので、ご確認の程お願いいたします。オンライン参加者用マニュアルについてご不明な点等ございましたら、普及課宛メール([fukyu@shogi.or.jp](mailto:fukyu@shogi.or.jp))にお問い合わせをお願いいたします。

テレワーク期間につき、担当者不在の場合がございますので、ご理解の程お願いいたします。

また、本書類は付き添いにてご参加の方にはお送りしておりませんので、必要に応じて共有をお願いいたします。

ご多忙の中誠に恐縮に存じますが、皆様からのお力添えの程何卒よろしく願い申し上げます。

敬具

差出人: 指導員係

送信日時: 2021年2月5日 11:22

件名: 2月7日(日) 連合会長会議当日のご案内

各位

一斉送信にて失礼いたします。  
いつもお世話になっております。  
日本将棋連盟の宮川です。

2月7日(日)に開催いたします、令和2年度 日本将棋連盟「支部連合会会長・幹事支部支部長会議」につきまして、当日の簡単なお案内を送付します。  
なお、詳細につきましては、先日お送りした資料をご確認頂きますようお願いいたします。

【日時】令和3年2月7日(日) 13時開始 16時終了

※Google Meetは、12時30分頃から開場しております。

出席を順に確認いたしますので、少しお早めに接続頂きますようお願いいたします。

#### 【確認事項】

①Web会議システム Google Meet を通して会議を行います。

カメラ・マイク・スピーカー機能のついたPCをご用意ください。

(ご用意が難しい場合は、スマートフォン・タブレットを用いて Google Meet に接続してください。)

当日の Meet の URL は、<https://meet.google.com/ebh-xmsi-lhd> です。

GoogleMeet トップページ (<https://meet.google.com/>) から  
会議コード「ebhxmsilhd」をご入力頂いてもご参加いただけます。

操作方法は、先日送付したマニュアルをご確認ください。

②当日の緊急連絡先は、

(東京) 090-4620-5850、(関西) 090-8827-1579

です。※なお、当日限り有効の番号です。

メールの場合は、今回お送りしたメールアドレス ([shidouin@shogi.or.jp](mailto:shidouin@shogi.or.jp)) までご連絡ください。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問合せください。

当日はどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

**(配付資料)**

- ・「支部連合会会長・幹事支部支部長会議」表紙（概要）
  
- ・「支部連合会会長・幹事支部支部長会議」次第
  
- ・出席者名簿
  
- ・普及に係る基本方針
  
- ・資料-①支部・指導員に関する資料
- ・資料-②文部科学大臣杯・小学生名人戦 参加者数の推移に関する資料
- ・資料-③学校教育への将棋導入推進事業のご案内
- ・資料-④学校教育に関する資料
- ・資料-⑤文部科学省土曜授業応援団に関する資料
  
- その他一・令和3年度「将棋普及推進棋士派遣」
  - ・令和3年度の小・中・高奨励免状

# 令和2年度 日本将棋連盟「支部連合会会長・幹事支部支部長会議」

- ・日時 令和3年2月7日(日) 13:00~
- ・会場 【オンライン】  
ご出席者のご自宅又は活動拠点等PCとネット環境のある場所  
【東日本・東京】  
日本青年館ホテル 8階カンファレンスルーム・イエロー  
【西日本・大阪】  
新梅田研修センター 新館5階 504号室
- ・出席者 支部連合会・幹事支部代表者 31名  
棋道正師範・棋道師範 6名
- ・出席役員 佐藤 康光会長 脇 謙二専務理事  
井上 慶太常務理事 鈴木 大介常務理事 西尾 明常務理事
- ・出席職員 普及部 部長 磯辺 丈敏  
副部長 中村 紀子  
普及課 課長 冨田 哲也(関西本部)  
課長補佐 西山 愛子(関西本部)  
リーダー 井上 暁仁(東京・大会担当)  
後久 拓真(東京・大会担当)  
鈴木 美沙乃(東京・学校教育係)  
朴 崇仁(関西本部)  
宮川 彩乃(東京・指導員係)  
堀井 直哉(関西本部)  
角田 澤音(関西本部)  
赤松 理英(関西本部)

**令和2年度  
日本将棋連盟「支部連合会会長・幹事支部支部長会議」次第**

**記**

● **開 会**

● **日本将棋連盟会長挨拶**

● **日本将棋連盟出席者紹介**

● **議長指名**

● **議 事**

(1) 普及方針に関する説明 (佐藤康光会長)  
※上記事項に関する質疑応答

(2) 関西本部主要普及政策と事業報告 (井上慶太常務理事)  
※上記事項に関する質疑応答

(3) 東京本部主要普及政策と事業報告 (鈴木大介常務理事)  
※上記事項に関する質疑応答

(4) ご質問・ご意見・ご要望等への回答  
※上記事項に関する質疑応答

(5) その他 事務局よりのお知らせ

● **閉 会**

令和2年度 日本将棋連盟「支部連合会会長・幹事支部支部長会議」出席者一覧

	都道府県	連合会・支部名	役職名	出席者氏名	都道府県	連合会・支部名	役職名	出席者氏名
1	北海道	北海道支部連合会	副会長	山下 弘人	兵庫	兵庫県支部連合会	会長	内藤 秀彰
2	北海道		付添	滝野沢和則	和歌山	和歌山県支部連合会	会長	神出 直治
3	山形	山形県支部連合会	会長	大泉 義美	鳥取	鳥取県西部支部	副支部長	興津 信之
4	福島	福島県支部連合会	会長	武蔵 正憲	徳島	徳島県支部連合会	会長	江川 侑騎
5	茨城	茨城県支部連合会	幹事長	美馬 和夫	香川	香川県支部連合会	会長	吉田 道教
6	栃木	栃木県支部連合会	会長	西岡 潤	香川		付添	鏡原 照正
7	埼玉	埼玉県支部連合会	幹事長	佐藤 啓	愛媛	松山坊っちゃん支部	事務局長	児島有一郎
8	千葉	千葉県支部連合会	会長	丸谷 勝	愛媛	新居浜支部	事務局長	鶴川 文男
9	千葉		付添	吉田 友哉	福岡	福岡県支部連合会	会計	関口 武史
10	東京	東京都支部連合会	会長	小針 俊郎	佐賀	佐賀県支部連合会	会長	椋露地津市
11	新潟	新潟県支部連合会	会長	奥州 光治	大分	大分中央支部	幹事長	宗岡 博之
12	石川	石川県支部連合会	事務局長	三角 憲正	愛知		棋道正師範	鬼頭 孝生
13	福井	福井支部	幹事長	宮越 和彦	愛知		棋道師範	京 文雄
14	岐阜	岐阜県支部連合会	会長	伊藤 壽	京都		棋道師範	清水 忠治
15	愛知	愛知県支部連合会	会長	山中 利夫	京都		棋道師範	西澤 保
16	三重	三重県支部連合会	会長	東 秀雄	京都		付添	中村 浩
17	滋賀	滋賀県支部連合会	事務局長	大垣 宏明	京都		棋道師範	小野 巖
18	京都	京都府支部連合会	会長	廣田 長己	大阪		棋道師範	北川 茂
19	大阪	大阪府支部連合会	会長	伊藤 章一				

出席者数：37名

## ◇普及に係る方針について

令和3年度に向けた日本将棋連盟の「普及に係る方針」は以下の通りでございます。コロナ禍においては、参加者・関係者の皆様の安全が第一であることは言うまでもございません。

日本将棋連盟といたしましては、今後も政府・自治体からの要請や法令を遵守しつつ、皆様の活動再開に向けてサポートできるよう対策を講じて参る所存でございます。

普及活動においては、引き続き短～中～長期と目標を立て取り組んで参りたいと考えておりますが、支部連合会・支部・将棋普及指導員の皆様に感染リスクを伴うお願いをすることは現状では避けたいと考え数値目標は最小限に止めました。

過去に例のない大変な状況が続きますが、感染防止対策を引き続き行って頂き、支部会員・指導員並びに、生徒・保護者の皆様の健康と安全を最優先に考えた活動をお願い申し上げます。ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

令和3年2月7日

公益社団法人日本将棋連盟

会 長 佐藤 康光

専務理事 脇 謙二

常務理事 井上 慶太（普及担当）

鈴木 大介（ 〃 ）

西尾 明（ 〃 ）

## 【佐藤会長スローガン】

### 『盤上に感謝と最高のコミュニケーションを』

ファンや普及活動に尽力される支部連合会・支部・指導員の皆様、スポンサー等将棋に関わって頂く全ての方々に感謝の気持ちを忘れずに日々の活動に取り組んで参ります。

#### (1)小・中学校将棋団体戦／小学生将棋名人戦都道府県大会に対する方針

- ・まず、2021年度の小・中学校将棋団体戦は、その開催について主催者の産経新聞社様と協議を重ねた結果、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかかっていない現状を考えると参加者・保護者・関係者の安全面を担保できないとの判断から止む無く中止とさせて頂くこととなりました。
- ・しかし、両事業は次世代育成の根幹を成す事業であることに変わりはありません。小・中学校将棋団体戦は「ヒューリック株式会社様」、小学生将棋名人戦は「株式会社さなる様」が協賛社となり、開催にご理解を頂いております。協賛社から継続的な理解・協力を得るために今後も都道府県大会の活性化に重点を置いた施策をいたします。
- ・文部科学大臣杯小・中学校将棋団体戦及び小学生名人戦の各都道府県大会の参加者数はいずれも2018年をピークに現在は減少傾向にあります。  
小・中学校将棋団体戦/小学生将棋名人戦共に感染リスクを最小限に抑えた運営を行っていくことでコロナ禍を乗り切り、平時に戻った際には改めてその時の状況に応じた大会活性化対策を講じます。

#### (2)テーブルマークこども大会、J：COM杯3月のライオン子ども将棋大会、イオンモール杯争奪こども将棋王決定戦 について

- ・JT・テーブルマーク株式会社様協賛の「テーブルマークこども大会」、株式会社ジュピターテレコム・株式会社囲碁将棋チャンネル様主催の「J：COM杯3月のライオン子ども将棋大会」、イオンモール株式会社様主催の「イオンモール杯争奪こども将棋王決定戦」の各大会は、2020年は中止となる大会もございましたが、2021年度に際してはいずれも開催に向けてお話を頂いております。  
現状において大会開催にご理解を頂ける企業スポンサー様があることは大変有難いことと考えておりますので、引き続き参加者への周知をよろしくお願い申し上げます。



### (3) オンラインを活用した大会・イベントの充実

- ・アマ棋戦、支部大会、学生大会、女性大会等各種将棋大会の更なる参加者増、発展に邁進する方針は今後も変わりはありません。
- ・しかし、リアルの大会開催が厳しい現状においては、オンラインを活用・併用することで、参加機会の創出に努めて参る方針です。
- ・去年は、「女流アマ名人戦」の代替大会に昭和西川様、「ファーストロジック杯全国オール学生将棋選手権戦」にはファーストロジック社様にご協賛を頂きオンライン大会として開催いたしました。

今後も将棋倶楽部24を中心としたオンライン大会/指導対局システムの構築と充実を図ることで普及活動の沈滞を解消して参ります。

- ・日本将棋連盟の公式 YouTube チャンネルを活用し、将棋講座の配信や情報発信にも力を入れて参ります
- ・次世代の支部会員のためにまた新規ファン層の取り込みを図るためにも、デジタル領域の取組を拡張することで、より多くの方々に興味関心を持っていただく機会を作って参ります。

### (4) 将棋普及指導員について

- ・令和2年度将棋普及指導員申請では、89名が新たに資格を取得されました。皆様のご理解ご協力により全国で1,078名が登録するまでに至りましたが、現状では全国的に指導者不足は明らかです。

今後も将棋普及指導員増を継続方針とします。

<目標>

- ・短期 全都道府県で将棋普及指導員の配置（不在県：福井）
- ・5ヵ年 毎年資格取得者100名以上  
※2019年度・89名 2020年度・89名
- ・10ヵ年 将棋普及指導員数2000名  
※2019年度・1,014名 2020年度・1078名
- ・継続 受験者の経費負担軽減を目的とし、受験者10人以上が予定される道府県には、試験官棋士を派遣し試験を開催する。(令和3年度・京都府・広島県)  
令和3年度は全国9ヶ所での将棋普及指導員試験会場を設けましたので、申請について引き続きご協力をお願い申し上げます。  
(北海道・東北・東京・名古屋・京都・大阪・福山・香川・福岡)

- ・将棋指導者講習会の開催

指導員資格取得者増加対策として資格取得を目指される方を対象に将棋指導者講習会を開催します。

例年全国4～5カ所で開催して参りましたが今年度は1カ所のみとなりました。

対策として日本将棋連盟の公式YouTubeチャンネルを活用した指導者講習会動画を作成し配信いたします。

## (5)支部・支部連合会活動の促進

- ・普及活動の拠点支部であり、支部活動の活性化が普及活動の根幹を成すことは言うまでもありません。

しかし、コロナ禍において支部活動ができないとの報告を多数受けており、支部活動の休止や支部会費の徴収がままならないとの声も各地より頂戴しております。支部会費の納入が遅れることにつきましては、期限を可能な限り支部のご都合に合わせて柔軟に対応して参ります。

その上で支部の設立、支部会員の増加に引き続きご理解ご協力をお願い申し上げます。

### <目標>

- ・支部数 800支部 ※R.3.1月現在 670支部
- ・支部会員数 20,000人 ※R.3.1月現在 15,501人
- ・これまでも支部連合会の設置についてお願いを申し上げましたが、今後も全都道府県に設置することを継続目標とします。

※未設置の地域 福井・鳥取・奈良・鹿児島・愛媛・大分

- ・全国支部将棋対抗戦・名人戦・全国シニア名人戦について

全国シニア名人戦が2年連続で中止となりましたことは大変残念であり参加を楽しみにされていた皆様には誠に申し訳なく思っております。

高齢者への感染リスクと移動を伴う感染リスクを考慮した結果であり何卒ご理解を賜りたく存じます。

また、支部対抗戦につきましても、移動を伴う感染リスクを回避する目的からブロック別大会への方式を変更させて頂きました。

ブロックの幹事をお引き受け頂きました支部連合会・支部の皆様にはこの場を借りて改めて御礼申し上げます。

全国支部将棋対抗戦・名人戦・全国シニア名人戦は支部会員の皆様の最大の目標となる大会です。

支部会員の皆様が安心してご参加頂ける大会となるよう、皆様のお声を頂戴しながら当面の対策を講じて参ります。

- ・(3)の目標に則りオンラインを活用した支部会員向けサービスの開始を検討して参ります。

まずは、普及推進棋士派遣に準じたオンライン棋士派遣、オンライン将棋教室の開催について皆様のご意見をお伺いしたいと思います。

また、前回の会議でご要望を頂きました連盟HPでの支部道場の掲載について、HPの体制が整いましたので、新年度より支部ニュース等でご案内をさせていただきます。

## (6) 学校教育への将棋の導入

- ・学校教育事業では、今まで学校への講師派遣を中心に活動しておりましたが、このたびのコロナ禍により対面での指導の制限を余儀なくされました。

このような事態に対応するため、今年度行った大学での将棋のオンライン授業を基盤に、小中高でも同様にオンライン指導ができるよう進めていく予定です。

現在講師・学校向けのマニュアルを整備しており、3月から申し込み・相談を受け付け、来年度5月から試験導入をする予定です。

指導方法は Web 会議を通じたネット指導、動画撮影（学校が撮影・編集し、同校の生徒へ配信するもの）を想定しています。

また、YouTube への需要が高まっていることから、オンラインイベントに絡めて初心者向けの動画を製作し全国の子供たちが将棋に触れるきっかけを増やしていきよう進めていく予定です。

## (7) 映像の活用と充実

- ・映像を通した将棋普及を進めるため、囲碁将棋チャンネル社の協力を得て、新たに3本の映像作品の制作を進めて参ります。

### ① 将棋連盟のPR映像

将棋連盟とはどんな団体でどういった活動をしているのかを紹介する広報動画

### ② 将棋界の歴史について

指導員教材のDVD「将棋の歴史」の補完として、昭和末期から現代までに起きた棋界の出来事を映像でまとめます。

### ③ 初心者用将棋のルール解説動画

指導員教材として配布している「レッツ将棋」をもとに、初心者を対象に、駒の動かし方から教える入門者用映像。海外の方にもご覧いただけるよう、英語での吹き替えなども対応予定。

②、③は指導員教材や学校での使用などを想定しておりますが、具体的な価格、販売方法、完成時期などは決まり次第支部ニュースや指導員だよりにてお知らせいたします。

- ・現在指導員教材として販売しているDVD「将棋の歴史」は、製作当時から現在までの研究で判明している史実が変わっていることから、大阪商業大学の古作研究員の協力のもとに字幕での修正を追加した改訂版を製作いたします。今年度中に完成予定、来年度4月以降の配布・販売を予定しております。

#### (8) 令和3年度伝統文化親子教室事業

- ・文化庁補助事業「伝統文化親子教室事業」は令和3年度事業採択について審査の段階になると思われます。応募にご協力いただきました支部・指導員の皆様に感謝申し上げます。今後も引き続きよろしくお願い申し上げます。

#### (9) 地方公共団体との連携

- ・「将棋文化振興自治体 全国将棋サミット 2020」は新型コロナウイルスの影響により中止となりましたが、本事業は地方自治体との連携強化に重要な役割を果たしておりますので、次年度の開催に向けて準備を進めて参ります。
- ・平成30年9月19日に日本将棋連盟と高槻市は、自治体としては全国初となる、「公益社団法人日本将棋連盟と高槻市との包括連携に関する協定」を締結しました。令和2年10月22日には渋谷区と、将棋の普及・振興を通じた伝統文化の発展及び地域の魅力向上に寄与することを目的として、相互協力に関する協定を締結いたしました。令和2年12月17日には名古屋市と、日本の伝統的な文化である「将棋」の普及・振興に関する連携協力に関して、協定を締結しました。今後も将棋に理解のある自治体と協定締結を進めることで、地域における将棋の環境作りと普及活動の拠点作りに結び付け、同時に自治体の文化・教育・福祉活動に貢献を果たして参ります。

以上

参考資料①-1 支部・指導員に関する資料

支部会員数推移

(単位/人)

	正会員	女・学生	支部特別	将棋世界・個人・個人特別	合計
平成29年度	11,840	4576	76	731	17,223
平成30年度	11,824	4873	67	741	17,505
令和元年度	11,778	4618	71	695	17,162
令和2年度	10,649	4103	73	676	15,501

※1月15日現在

100名支部数推移

(単位/支部)

	100名支部	200名支部	300名支部	400名支部
平成29年度	18	5		
平成30年度	16	4	1	
令和元年度	17	5		1
令和2年度	14	2		1

※1月15日現在

棋士派遣数

(単位/連合会・支部・団体)

	文科杯	小学生名人	伝統文化
平成28年度	26	27	48
平成29年度	25	7	51
平成30年度	26	14	55
平成31年度	24	30	55
令和2年度	0	16	25

※1月14日現在

参考資料 ①-2 支部・指導員に関する資料

地域別にみる将棋普及指導員数

※ ( ) の数は女性の指導員数

• 北海道・東北地方

	北海道	青森県	岩手県	秋田県	宮城県	山形県	福島県	計
棋道正師範								
棋道師範						1		1
棋道指導員	4	2	4	2	3	2	2(1)	19(1)
将棋指導員	45	4	5	3	4	17	14	92(1)
計	49	6	9	5	7	20	16(1)	112(2)

• 関東地方

	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	計
棋道正師範			1					1
棋道師範	1	1		2		2	1	7
棋道指導員	3	1	3	2	1	3	4(2)	17(2)
将棋指導員	12	12	7	60(2)	30	95(7)	57(4)	273(13)
計	16	14	11	64(2)	31	100(7)	62(6)	298(15)

• 甲信越・北陸地方・東海地方

	山梨県	長野県	新潟県	富山県	石川県	福井県	静岡県	岐阜県	愛知県	三重県	計
棋道正師範							1		1		2
棋道師範			1				1		11	1	14
棋道指導員	2	3	2		1		1	6	20	5	40
将棋指導員	7	3	22(1)	5	1		12(1)	28	152(4)	10	240(6)
計	9	6	25(1)	5	2	0	15(1)	34	184(4)	16	296(6)

• 近畿地方

	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山	計
棋道正師範							
棋道師範		4	1				5
棋道指導員	2	7	3	1(1)		3	16(1)
将棋指導員	7	40(4)	58(2)	56(5)	9	4(1)	174(12)
計	9	51(4)	62(2)	57(6)	9	7(1)	195(13)

• 中国・四国地方

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	計
棋道正師範			1							1
棋道師範		1								1
棋道指導員			3	2			1	1		7
将棋指導員	6	10	28	9	1	8	4	5	10	81
計	6	11	32	11	1	8	5	6	10	90

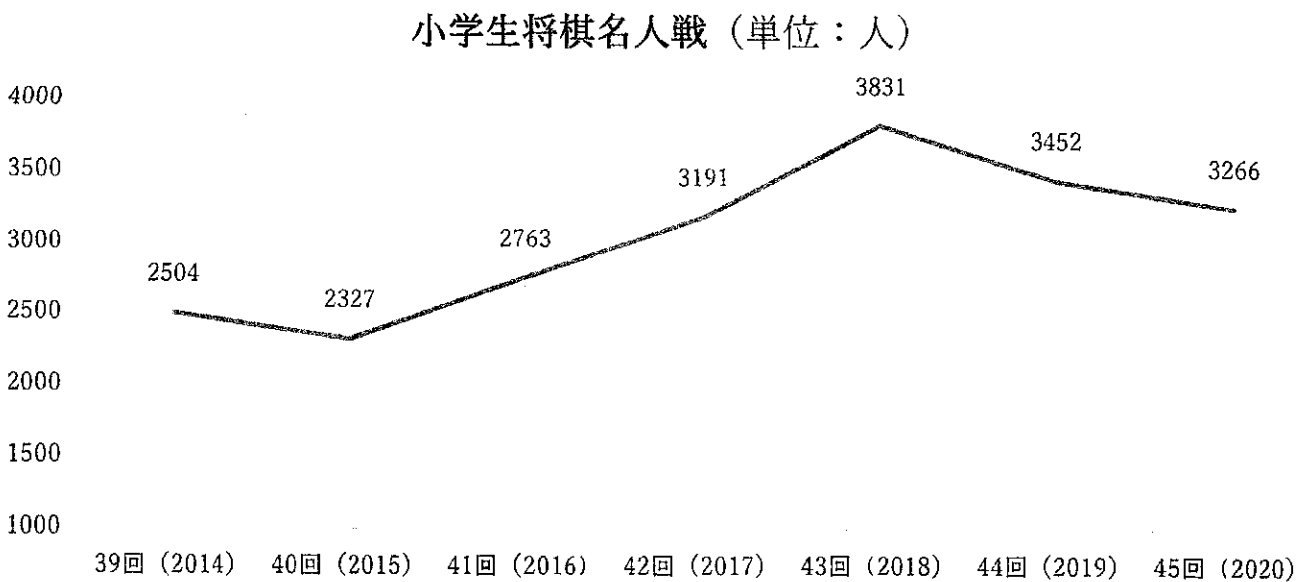
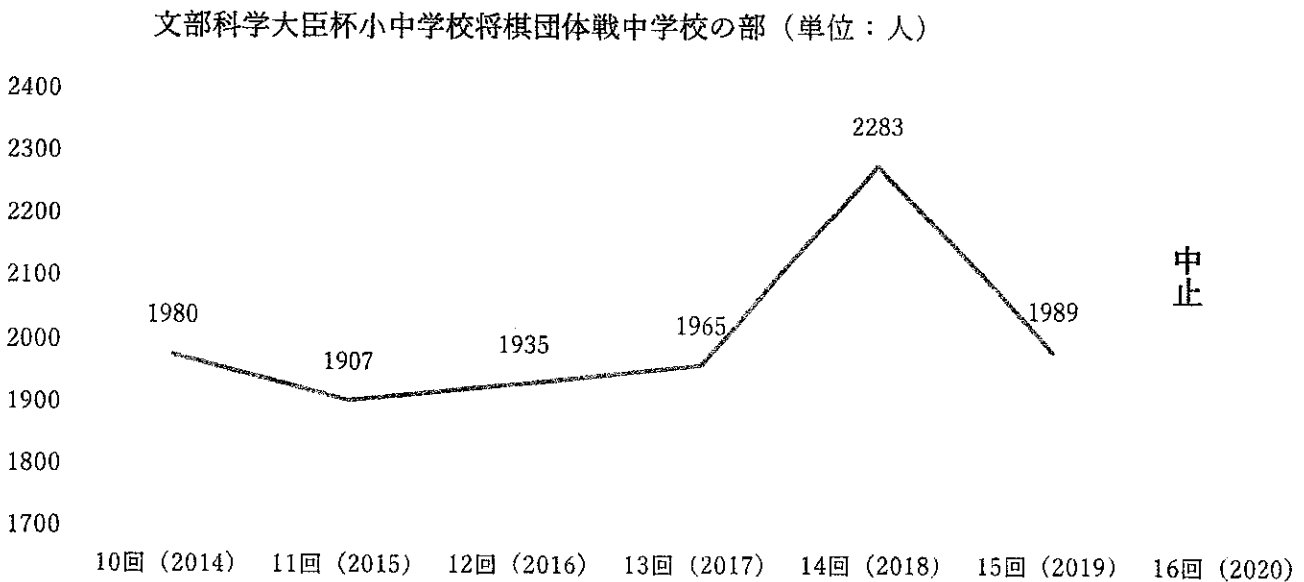
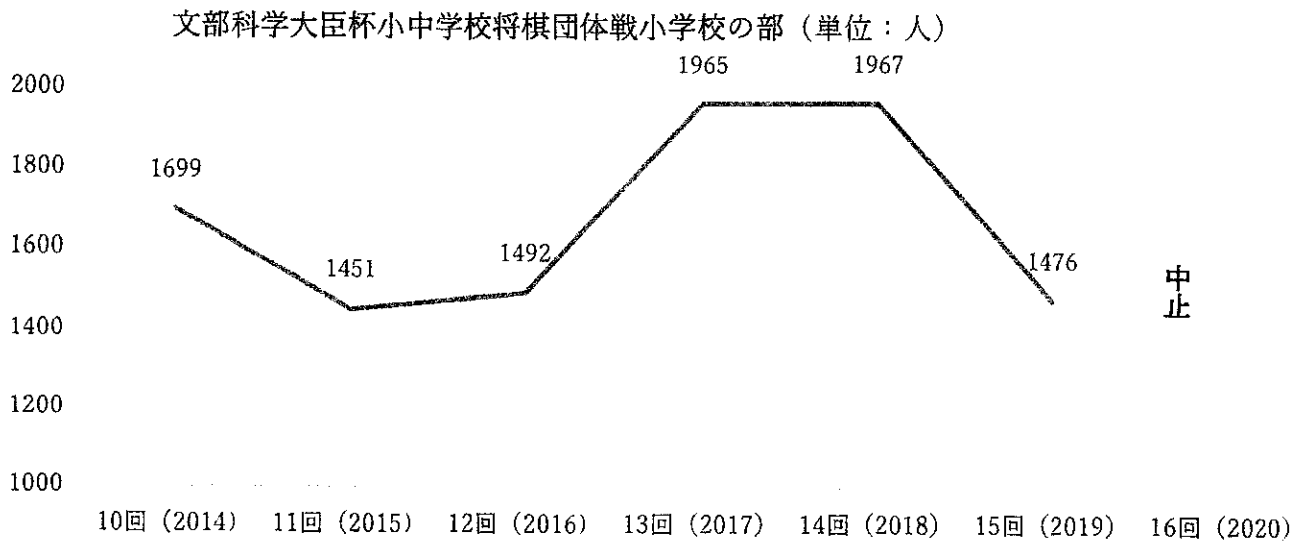
• 九州・沖縄地方

	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島	沖縄県	計	海外
棋道正師範										
棋道師範										
棋道指導員	4		1						5	
将棋指導員	47(1)	1	5	1	4(1)	3	1	7	69(2)	4
計	51(1)	1	6	1	4(1)	3	1	7	74(2)	4

2018年度指導員数：938名(棋道師範30名、棋道指導員98名、普及指導員810名)

2019年度指導員数：1001名(棋道師範29名、棋道指導員98名、普及指導員873名)

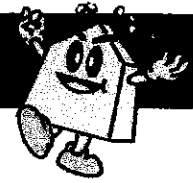
参考資料② 文部科学大臣杯・小学生名人戦 参加者数の推移





## 参考資料-③

### 学校教育への将棋導入推進事業



#### 学校に将棋を導入してみませんか

学校教育への将棋導入事業とは、学校内において、将棋というわが国が誇るべき伝統文化にふれることにより、日本文化の理解を深める機会を設け、礼儀作法の習得、集中力や忍耐力、相手を思いやる気持ちなど 児童・生徒の豊かな心や生きる力をはぐくむ機会を設けます。将棋を通じ社会に貢献をすることを目的に行われます。

#### 支援内容

##### 講師派遣

総合学習やクラブ活動、部活動など将棋教室を立ち上げる場合や、文化祭や講演会にて将棋講座を開催する場合に、講師を派遣します。

- 講師の1回の指導時間は2時間を限度とします。
- 申請者は、学校（小・中学校・高校）・教育委員会・学校内で実施する放課後等の活動団体のいずれかとします。
- 派遣講師は、棋士・女流棋士・将棋普及指導員のいずれかとし、講師の選定は将棋連盟にて行います。受講人数10名程度につき講師は1名程度を目安とします。
- 原則として、講師の交通費・宿泊費は申請者負担です。講師料は一部負担をお願いします。
- 開催日等により希望申請に添えない場合があります。

##### 将棋用具の支援

総合学習等で盤駒が不足している場合無料貸出しを行います。送料はご負担下さい。学校備品としての盤駒のご購入につきましてはご相談ください。

##### 将棋パンフレットの配布

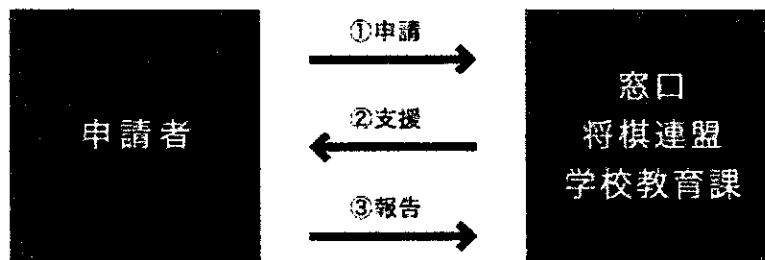
総合学習やクラブ活動などの正課授業や部活動、放課後教室で将棋パンフレットが必要な場合は配布をします。

- パンフレットは無料です。送料は、申請者が負担ください。
- 将棋パンフレットは、初めて将棋に触れる子どもを対象に作成された将棋のルールや歴史がわかる小冊子など、3種類あります。

## 参考資料-③

### 申請について

申請の際は、所定の様式を使用してください。（申請書は将棋連盟HP、もしくはお問い合わせにてお取り寄せください。）



- ①申請者は計画をたて、日本将棋連盟へ申請
- ②日本将棋連盟は申請内容を審査し、承認支援の可否を申請者へ通知
- ③申請者は事業の終了・通過後、日本将棋連盟へ完了報告

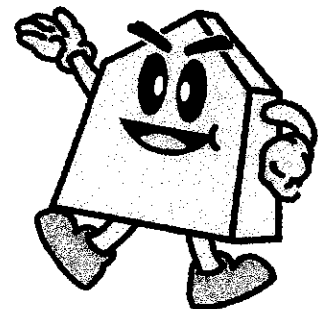
- 支援事業は単年度で完了するものとし、同支援事業を次年度も継続する場合は新たに申請手続きをしていただきます。
- 申請内容を変更する場合には事前に速やかにご報告下さい。申請内容の変更によっては、承認後であっても承認を再検討させていただく場合があります。
- 学校教育への将棋導入推進事業の支援額が年度予算額に達する場合、又は超過する場合にはご希望に添えない場合もあります。

### お問い合わせ・申請・報告先

- ・ 東京本部 学校教育課 〒151-8516 渋谷区千駄ヶ谷 2-39-9 03-3408-6234
- ・ 関西本部 学校教育係 〒553-0003 大阪市福島区福島 6-3-11 06-6131-5728

公益社団法人日本将棋連盟ホームページより

<https://www.shogi.or.jp/about/activity/education/>



## 参考資料④ 学校教育への将棋導入について

公益社団法人日本将棋連盟  
普及部 学校教育係

### ■ 学校教育将棋導入推進事業 連盟からの講師派遣実績

#### ▶ 平成 31 年度

派遣校数：小学校 158 校・中学校 29 校・高校 9 校・中高一貫校 3 校・大学 8 校  
全国派遣 沖縄・長野 2 校 タイトル戦棋士派遣 1 校

派遣媒体：総合学習 13 校・授業内のクラブ活動 29 校・サマースクール 8 校  
サタデースクール 22 校・部活動 34 校・放課後活動 96 校・ゼミ 1 校  
土曜日授業 3 校 教育委員会ほか  
会館見学・体験学習 17 校

派遣効果：①文部科学大臣杯東京予選が小・中各 100 チームを越えたこと

②足立区・渋谷区・杉並区・新宿区・八王子市で大会を開催

③将棋の総合学習や放課後クラブ開催校の増加

④体験授業として興味を持ってきている。修学旅行での会館見学会館見学時に歴史・将棋の駒についての話を入れている。

#### ▶ 令和 2 年度

派遣校数：小学校 58 校・中学校 23 校・高校 8 校・中高一貫校 3 校・大学 3 校  
全国派遣 長野 1 校 タイトル戦棋士派遣 0 校

派遣媒体：総合学習 14 校・授業内のクラブ活動 16 校・サマースクール 0 校  
サタデースクール 6 校・部活動 36 校・放課後活動 10 校・ゼミ 0 校  
土曜日授業 1 校 など  
会館見学・体験学習 0 校 ほか、オンラインイベントなど

### ■ オンライン指導について

公益社団法人日本将棋連盟東京本部では、このたび学校教育への将棋導入推進事業における学校への指導をオンラインで実施できるよう取り組んでいくこととなりました。

2021 年度はテスト導入として、無料のネット将棋サービス「81 道場」と Web 会議ツールを使用した指導方法を主に想定しております。Web 会議ツールを利用することで、双方向のコミュニケーションを保ちながら、学校の教室や生徒様のご自宅からオンラインで将棋の指導を受けることが可能です。

各サービスの利用方法や導入事例などの詳細につきましてはオンラインマニュアルを準備中です。

2 月に学校へご案内、5 月からの試験導入を行う予定です。正式なスタートは 2022 年度を予定しております。

### ■ 指導員の学校指導数

2019 年度の指導員活動報告書から、小中高への指導数を都道府県別に集計いたしました。(別紙参照) 全国で授業やクラブ、部活動、放課後スクールなどを含め、小学校 231 件、中学校 31 件、高校 11 件の計 273 件にご指導いただきました。ありがとうございました。

	小学校	中学校	高校
北海道	2	0	1
青森県	1	0	0
岩手県	1	1	0
宮城県	1	0	0
秋田県	0	0	0
山形県	3	0	0
福島県	2	0	0
茨城県	0	0	1
栃木県	2	0	0
群馬県	4	0	1
埼玉県	12	2	0
千葉県	15	1	0
東京都	58	2	1
神奈川県	15	2	0
山梨県	1	0	0
長野県	2	3	1
新潟県	12	0	0
富山県	0	0	0
石川県	1	0	0
福井県	0	0	0
岐阜県	8	2	1
静岡県	5	1	1
愛知県	21	6	0
三重県	0	0	0
滋賀県	0	0	0
京都府	10	0	0
大阪府	12	1	1
兵庫県	8	1	0
奈良県	0	3	0
和歌山県	2	0	0
鳥取県	1	0	0
島根県	0	0	0
岡山県	6	4	0
広島県	6	0	0
山口県	0	0	0
徳島県	6	1	1

	小学校	中学校	高校
香川県	0	0	0
愛媛県	3	0	1
高知県	2	0	0
福岡県	6	0	1
佐賀県	0	0	0
長崎県	1	1	0
熊本県	0	0	0
大分県	0	0	0
宮崎県	0	0	0
鹿児島県	0	0	0
沖縄県	2	0	0
不明	0	0	0
海外	0	0	0

	小学校	中学校	高校
合計	231	31	11

# 「考える力」を身につけよう 「日本の伝統・文化」将棋を学ぶ

公益社団法人 日本将棋連盟

当団体は日本の伝統文化である将棋を次世代に継承する事業の一環として、子供たちへの将棋プログラムを作成しました。日本文化の理解を深める機会を創り、礼儀作法の習得、集中力や忍耐力、相手を思いやる気持ちなど、児童・生徒の豊かな心を育てる力を育む機会を創ります。

対象(年齢層)	小学生、中学生、高校生
開催場所	各都道府県の児童・生徒
内容・文化	
実施時間	90分 ※45～120分でアレンジ可能

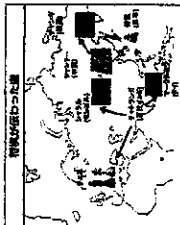
企画	将棋が伝わりつた道から日本の将棋の特徴を知る、地域・風土によってその強み・特徴の起源となり日本では、唯一取った駒を使う将棋となった歴史を説明。
学校	
実施日	平日祝祭日、土曜日、日・祝日や夏休み等の長期休暇

## 「将棋の歴史」

古来より愛好者が多く庶民の娯楽は娯楽という側面を持つ将棋。

近年では、将棋を通じて、思考力・集中力・決断力・洞察力の育成や、礼儀マナー、自ら考えて決断することや相手への思いやりなど、教育的効果が認識されるようになってきました。

この力は将来に際する重要な面で生かされるものと感じ、平成18年末に、将棋を次世代に継承していくため、当団体内において学校教習員を創設いたしました。

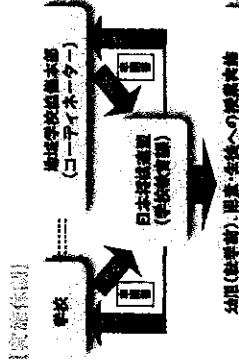


## 「将棋対子の学び方」

- 対子では、即興対局に専念することができ、「将棋で子供たちに何を伝えたいか?」や「対局や対局練習の一端を伝えたいか?」を話し合える。
- 学校の授業・対局の場でも学ぶことができる。
- 将棋を学ぶ、子供への関心。
- 学校の授業・対局によりプログラムを作成。
- 将棋連盟・クラブ活動・対局を促進。
- 平成17年・土曜日の対局は対局に賛同。

学校の授業・学年に合わせてプログラムを考えます。

東京、大阪にある将棋会館を見学し、プロの対局の授業が受けられます。キャリア教育としてプロ棋士のお話を聞くことができます。



## 【お申し込み】

① 礼儀を習得: 「お願ひします」「お願ひします」「ありがとうごさいました」の三つの礼を基本として、対局相手への敬意と対局に関する全てに感謝の気持ちを表わします。

② 三手の読み: 一手ごと交互に探し合います。自分だけの思いで進めることはできません。相手が何を考え、何を考へて自分の手を考へます。先を察し洞察力、想像力を養い身につけます。

③ 「考える力」を身につけよう: 将棋は自分で考へ自分で決断し相手を考へます。自分で考へる習慣を身につけます。

## 【対局指導(講師)】

### STEP1 (10分)

【将棋の歴史】  
将棋が伝わりつた道から日本の将棋の特徴を知る。地域・風土によってその強み・特徴の起源となり日本では、唯一取った駒を使う将棋となった歴史を説明。

レクチャー

### STEP2 (15分)

【礼儀作法・マナー】  
将棋を指すマナーを通して礼儀作法を学ぶ。駒を指す際の姿勢を定める。勝負をする前・後の挨拶、最後には片付けまでの所作を解説。

レクチャー

### STEP3 (35分)

【将棋を指してみよう】  
棋は対局。自分で考へて自分で決めて将棋を指します。将棋のルールを知らない子供たちにも駒の動きがわかりやすく指導。

ワーク



将棋は難しいと思っただけで、駒は8種類しかないことを知り、大きな発見が生まれた。

想像力を使うことで、物事について人と異なるように考えました。(コミュニケーション)

わからないとすぐに投げ出していた児童がじっくり考へるようになった。

## ※プログラムのポイント

- ① 礼儀作法や所作を学ぶ。
- ② 洞察力や想像力を育む。
- ③ 思考力を育み、対局者とのコミュニケーション力を育む。

1,2回の総合的な学習の時間では、将棋のさびりのみしか伝えないことができません。思考力・集中力・決断力・洞察力を身につけてもらう(実践)また将棋の奥深さを知ってもらうために、個別の時間を取ってもらえるよう学校・地域と協力していく予定です。

お問い合わせ先:

公益社団法人 日本将棋連盟 普及課 普及課 普及課  
〒151-8516 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-39-9  
TEL: 03-3408-8224 e-mail: shakukai@shogi.or.jp

## 令和3年度「将棋普及推進棋士派遣」のお申込みについて

## ①申請の権利について

- これまで同様に、支部連合会・支部・指導員、それぞれに年度内1回の申請権利があります。

## ②別紙の「将棋普及推進棋士派遣申込書」に必要事項をご記入の上、下記までお申込みください。

お問合せ・お申込み先

- 〒151-8516 東京都渋谷区千駄ヶ谷 2-39-9 日本将棋連盟 普及部 将棋普及推進棋士派遣係  
TEL:03-3408-6165/FAX03-3404-7301
- 〒553-0003 大阪市福島区福島 6-3-11 日本将棋連盟 関西本部 普及部 将棋普及推進棋士派遣係  
TEL:06-6451-7272/FAX:06-6451-3626

## ③お申込みの際に、費用負担のご協力をお願いします。

## ご負担費用の受付方法について

- 現金書留、または郵便振込にて受付いたします。
- 現金書留の場合、申込書を同封していただいで結構です。
- 郵便振込の場合、申込書を郵送（またはFAX）の上、下記へお振込みをお願いします。  
「00130-5-42700 公益社団法人日本将棋連盟」※支部会費の振込口座と同じです。

## お願いするご負担の額について

- 通常 16,500円（税込）  
※派遣日数は、日帰り～1泊2日までとなります。遠隔地や交通の事情等で前泊・後泊の必要がある場合は、申請時に係までご相談ください。  
※平成25年度より宿泊を伴う場合は、宿泊費の地元ご負担をお願いしております。  
宿泊施設のご予約と代金支払いは、皆さまと施設側とで直接お願いします。

- 子ども教室応援派遣 11,000円（税込）

## 「子ども教室応援派遣」について

下記の条件を満たす場合、「子ども教室応援派遣」として検討いたしますので、ご相談ください。また、お申込みの際に、詳細が分かる資料を添付してください。

- 将棋普及指導員による申請枠でのお申込みの場合
- 対象となる参加者全員が子ども（高校生以下）である場合
- 学校・児童館への派遣、または将棋普及指導員の自主教室への派遣の場合
- 派遣棋士の役割が指導対局中心であること

- 拘束時間が3～4時間であり、宿泊を伴わないこと 例) 13:00～17:00にて解散（懇親会はなし）

## ④申込書とご入金をお願いいたします。申込書とご負担金の到着後、派遣棋士を選定いたします。

- 派遣棋士が決定になり次第、お知らせいたします。
- 棋士との事前交渉はご遠慮ください。指名の場合は、正規料金（将棋専門棋士派遣料金）にて受付をいたします。
- 決定までに少しお時間をいただきますが、ご理解いただきますようお願いいたします。
- 将棋普及推進棋士派遣では女流棋士の派遣はいたしておりません。平成27年4月から女流棋士の派遣につきましては、東西の普及課で正規料金にて受付をしております。
- お申込みは、派遣日程の1ヶ月前までをお願いいたします。

## ⑤その他

- 棋士の色紙等への揮毫は有料とさせていただきます。6枚以上揮毫をご希望・ご検討の際には必ず事前に事務局までご相談いただきますようお願いいたします。派遣棋士より6枚以上の揮毫について報告があった際は、後日ご担当者にその枚数分の請求をさせていただきますので予めご了承ください。
- 令和2年度より指導対局時に派遣棋士による段・級位認定を行わせて頂きます。棋力認定用紙を事前にお送りしますので指導対局時に配布をお願いします。

## 将棋普及推進棋士派遣申込書

申込者	支部名 ( ) 支部) 指導員 ( - )
申請枠	支部連合会 ・ 支部 ・ 指導員 (通常・こども教室応援派遣)
担当者名 連絡先	〒 - TEL: ( ) 携帯: ( ) メールアドレス: ※当日の緊急連絡先として棋士にお伝えします。
派遣地	都・道・府・県 市・町・村 会場名 ( )
派遣日	令和 年 月 日 ( ) ~ 月 日 ( ) 宿泊日 ( 月 日 ) ※宿泊が不要の場合は未記入で結構です。 ※宿泊が必要な場合は宿泊費のご負担をお願いいたします。
集 合	日 時 分 ・ 現地集合 ・ 送迎あり ( 線 駅・空港 改札口) ※東京・大阪からの出発が午前8時より前になる場合は、前泊をお願いすることがあります。 ※現地集合の際、最寄駅～会場までのタクシー代等は主催者にてご負担をお願いいたします。
内 容	該当項目に○を付け、以下にイベント名・スケジュールなどご記入ください。 指導対局・講座教室・懇親会・その他 ( )  ※棋士の色紙等への揮毫は有料とさせていただきます。6枚以上揮毫をご希望・ご検討の際には必ず事前に事務局までご相談いただきますようお願いいたします。  ※対局、その他の公務とのスケジュール調整が必要です。棋士の指名や事前接触等は支部師範を含めご遠慮ください。普及課にて派遣棋士を選定させていただきます。  ※棋士の指導時間は、1日あたり4~5時間以内をお願いいたします。  ※指導対局時に派遣棋士による段・級位認定を行わせて頂きます。棋力認定用紙を事前にお送りしますので指導対局時に配布をお願いします。
解 散	日 時 分 ・ 現地解散 ・ 送迎あり ( 線 駅・空港 改札口) ※東京・大阪への帰着が午後10時を過ぎる場合は、後泊をお願いすることがあります。 ※現地解散の際、会場～最寄り駅までのタクシー代等は主催者にてご負担をお願いいたします。

# 大会・イベント・教室・例会等の運営におけるガイドライン

## 参加者

- (1) 開催当日起床後に検温を行い、37.5℃以上の発熱や新型コロナウイルスの感染と似た症状が見られる場合は、運営者に報告のうえ参加を辞退する。
- (2) 会場では必ずマスクを着用し、咳エチケットを徹底する。
- (3) 対局の前後、会場入りの際には手指の消毒や手洗い、うがいを行う。
- (4) 対局終了後は感想戦を行わず、速やかに結果を報告し退室する。(指導対局のみ、終了後手短に行う場合は可。)
- (5) 大声での会話を避け、対局中はなるべく声を発さないようにする(挨拶、投了以外)。

## 運営者

- (1) 開催当日起床後に検温を行い、37.5℃以上の発熱や新型コロナウイルスの感染と似た症状が見られる場合は、会場へは行かないこと。
  - (2) 消毒液、マスクの予備を用意する。会場内では、参加者・運営者共に必ずマスクを着用し、咳エチケットを徹底する。
  - (3) 参加者名簿を作成し、連絡先等を把握しておく。
  - (4) 大声での会話を避け、窓の開放や換気扇によって頻繁に換気する。(2方向の窓を開け、数分程度の換気を1時間に2回程度行うことが有効とされている。)
  - (5) 適時、盤駒・駒台・対局時計・大盤等、多くの人が触れる備品や箇所を消毒する。
  - (6) 対局等座席の間隔を通常よりも余裕をもった設定とする。出来れば1メートル以上距離をとり、座席の前後左右に別の座席を配置しない。(四方を空けた席配置を行う。)
  - (7) 指導対局は、3面指しを上限とする。ただし、1メートルから2メートルの距離が確保できる場合は、5面指しまで可。
  - (8) 対局、指導対局は、一局1時間以内とする。
  - (9) 教室、講座等は、1コマが1時間を超えないようにする。1コマごとに換気、手指の消毒や手洗い、うがいを行う。
  - (10) 自治体のガイドラインに沿った形で、入場者の人数制限を行う。狭い会場の場合、保護者は別室に待機してもらう。
  - (11) 懇親会、大人数と長時間の打ち合わせは禁止。
  - (12) 棋士・女流棋士との握手、集合・密接した写真撮影は禁止。
- ※ガイドラインに沿った運営が行えない場合、棋士派遣をご遠慮いただく場合がございます。あらかじめご了承ください。



令和3年3月20日

支部連合会会長 各位  
幹事支部支部長 各位

日本将棋連盟普及部  
Tel.03-3408-6165

### <小・中・高奨励免状の申請ご案内>

令和3年度の小・中・高奨励免状につきまして、ご案内申し上げます。

年間2本（初段～参段の範囲）を無料にて申請できます。別紙の専用申請用紙にご記入の上、期限内（令和3年4月1日～令和4年3月31日）に申請して下さい。申請にあたっての注意点等、詳細は下記の通りです。

### <小・中・高奨励免状の申請方法>

年間2本（初段～参段の範囲）を無料にて申請できます。別紙の専用申請用紙にご記入の上、期限内に申請して下さい。申請にあたっての注意点等、詳細は下記の通りです。

#### 記

- (1) 未使用分の次年度への持ち越しはできません。
- (2) 過去に奨励免状を授与した人への別段位の再授与はできません。
- (3) 2本の免状申請時期は一括も分割もできます。
- (4) 申請段位はどのような組み合わせもできます。
- (5) 免状発行には申請書受領から1ヶ月ほどかかります。
- (6) 発送先は連合会・支部事務局または本人宅等、指定できます。
- (7) 申請者が連合会または主幹支部以外の場合は受領できません。
- (8) 特例として、小学生名人戦・文科杯小中将棋団体戦の都道府県予選において顕著な成果が認められた地域は、年間2本とは別に1本の特別申請ができます。  
※成果の評価については連盟にご一任下さいますようお願い致します。

以上